ときの至手箱

～博物館からのメッセージ～

第183回

井伊家当主の「三種の神器」

「三種の神器」といえば、皇位のしるしの品で、即位に伴い天皇が継承した3つの宝物のことです。これと同様、家の当主に就くと、重代の品を受け継ぐ場合があります。戦国大名では、甲斐の武田家が始祖以来の家宝として「御旗」と「楯無の鎧」を相伝したのが知られています。

彦根藩主井伊家にも、当主継承とともに受け継ぐ三品があったことが、確認されました。受け取った証しである目録が現存しています（写真）。ここには、「御拝領唐頭毛御立物」「御麾」「御軍扇」と列記されています。これらはいずれも軍装した際に身につける品です。

「唐頭毛御立物」とは、「唐の頭」と呼ばれた毛を素材とする「立物」（兜につける装飾）の意味です。雨露を防ぎ、威嚇効果もあることから、兜に動物の毛をかぶせることが戦国大名の間で流行しました。その毛に使われたのが、チベット高原に生息するヤクの毛で、中国からもたされたことから「唐の頭」と呼ばれました。徳川家康がこれを好んだことは、「家康に過ぎたるものが二つあり、唐の頭と本多平八」と謳われたことからも著名です。

井伊家当主が相伝した唐の頭には、「御拝領」と肩書されています。明治時代の記録に、この唐の頭は徳川家康からの拝領品とあります。井伊家重代の宝物とされたことから考えても、初代直政が家康から拝領した品と考えられます。当主の朱漆塗の具足に装着する唐の頭は、家康の肝入りで組織した「井伊の赤備え」軍団を象徴する品として、井伊家歴代に継承されたのでしょう。

麾は、采配のことで、士大将が部隊を指揮するための道具です。軍扇も伝統的な指揮道具です。古くは表裏に日の丸と月を描いたものが一般的で、軍神を招く際にも使うなど神聖な道具でした。

写真の目録の包紙には、寛政元年（1789）4月24日の日付がありますが、この日は井伊家11代直中が家督相続した8日後です。13代直弼が家督相続した直後の目録も現存しています。さらに、直弼の具足櫃に入る部品を列記した「御具足入記」には、この三品の記載の横に、万延元年（1860）5月21日に御譲りになったという加筆があります。この三品は当主の具足櫃で保管され、新当主就任に伴い、移されたことがわかります。

その後の三品の行方については、明治35年（1902）時点で東京に所在していたことが確認できます。明治以降、井伊家の本邸は東京市麹町区一番町（現在の東京都千代田区）にあったことから、そこで保管されていたのでしょう。この屋敷は関東大震災によって罹災し、多くの所蔵品が焼失してしまいました。これらの三品もそれらと同様の運命をたどったのでしょう。今では、目録のみが三品が存在していたことを示しています。

（彦根城博物館学芸員　野田浩子）

▶井伊家歴代相伝品目録

写真の資料は、企画展「武門の絆・徳川将軍家と井伊家」で11月27日(日)まで（期間中無休）展示します。

施設だより

ひこね市文化プラザ

☎26-8601 FAX 26-8602

11月の休館日:7(月)、14(月)、21(月)、28(月)

★★★　注目のイベント　★★★

11月8日(火)、15日(火)、22日(火)　19:00～　メッセホール

ひこね市民大学講座　歴史手習塾　セミナー10

「平清盛とその時代」

セミナー10では、来年の大河の主人公としても有名な平清盛を取り上げます。平清盛の人物像とともに、古代から中世へと転換してゆく時代背景も学びます。

自由　一般3,000円、SP価格1,800円（3講座分）

11月2日(水)　19:00～　エコーホール

金亀亭第9回落語ライブ

「柳家喬太郎・古今亭菊之丞　二人会」

金亀亭2回目の登場となる柳家喬太郎と、噺（はなし）の巧さが際立つ若手の注目株、古今亭菊之丞による二人会。「粋」で「いなせ」な二人による、渾身（こんしん）の落語をご期待ください。

指定　一般3,500円、SP価格2,000円

12月7日(水)　19:00～　グランドホール

ワールド・ミュージック・トリップvol.4　ダンス・エンターテインメント

「ザ・ステップクルー」

世界最高・世界最速のステップダンスが文化プラザに登場。超一流のチャンピオン・ダンサーとケルト音楽家たちが贈る、驚愕（きょうがく）のエンターテインメントをお楽しみください。

指定　一般3,900円、WMT会員価格3,300円、SP価格2,000円

12月からの催し物

12月11日(日)　14:00～　グランドホール

OEK♪ひこね　Cool Japan Concert　episode.3

「池辺晋一郎&OEK弦楽器メンバーによる ビートルズ・オン・バロック」

指定　一般4,000円、OEK会員価格3,400円、SP価格2,000円

12月18日(日)　14:00～　グランドホール

「第14回ひこね市民手づくり演奏会」

自由　前売1,500円、当日2,000円

平成24年1月13日(金)　19:00～　エコーホール

OEK♪ひこね　Cool Japan Concert　episode.4

「OEKメンバーによるニューイヤーコンサート」

指定　一般3,500円、OEK会員価格2,900円、SP価格2,000円

無料携帯メール会員募集!!

イベントにより、会員限定の特別価格情報を配信!

※右記のQRコードからご登録ください。

※SP価格…スチューデント・パスポート価格（登録無料の学生会員価格）
※WMT会員価格…ワールド・ミュージック・トリップ会員価格
※OEK会員価格…OEKサポーターズクラブ会員価格

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9:00～19:00）
インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

彦根城博物館

☎22-6100　FAX 22-6520

11月の休館日はありません。
※11月28日(月)～12月1日(木)は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

開館時間　8:30～17:00（入館は16:30まで）

企画展

10月28日(金)～11月27日(日)

「武門の絆―徳川将軍家と井伊家―」

征夷大将軍として全国を統治した徳川将軍家。井伊家はその筆頭家臣として、家康の創出した「赤備え」の軍事力を基盤として幕政に重責を担い、時には大老職を務めました。本展では徳川将軍家と井伊家の主従の絆を解き明かします。

▲井伊直政画像

▲東照宮御影（四月十七日拝礼）徳川記念財団蔵

常設展の名品

ほんものとの出会い

― 常設展示の名品―

常設展示「"ほんもの"との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

～11月30日(水)

埋木象文嵌入硯箱

埋木を生地に、象の形を打ち出した薄い鉛板を貼り、陶器や螺鈿などを嵌め込み、蒔絵を施した硯箱。江戸時代中期に江戸で活躍した小川破笠の作品です。